

北海道療育園、初のハラスメント研修を実施

10月6日、管理職・ハラスメント相談員・医師を対象として、オンラインで外部講師によるハラスメント研修会が開催されました。ハラスメントに関する基礎知識、具体例、その対処法などについて学びました。



適宜、グループでのディスカッションが盛り込まれた研修でした。意見交換することでの気づきがあり、有意義な学びの場となりました。



参加者の皆様からは、以下のような感想が寄せられています。

「ハラスメントに関する考え方は時代とともに変化しており、以前は当たり前だったことがハラスメントに当たることがある事を再認識した」「ハラスメントは自他ともに、また企業にも影響を与えることが印象に残った」「お互いにコミュニケーションが取れる職場作りに努めたい」

次回は、師長・主幹・主任を対象とした研修会を予定しています。風通しの良い職場作りのために、少しずつ取り組みを進めていきましょう。ご協力よろしくお願い致します。

～コラム～

不幸な人間が100人集まっても一人の重症児も幸福にはできない——故江口武顧問の口ぐせでした。職員や組織が健やかであること、安心と安全が保たれた中で働けること、それはとても大切なことだと思えます。

赤ちゃんとお母さんに象徴されるように、人は互いにつつんだり、つつまれたりしながら成長していきます。それは求めること、受けとめることと言っても良いかも知れません。その相互の営みが良好であるとき、互いの成長は健やかなものになります。職員と組織も同じだと思えます。みんなで見つけてみませんか。自分を、相手を、組織を、健やかにする方法を。(蒔田)